



残響

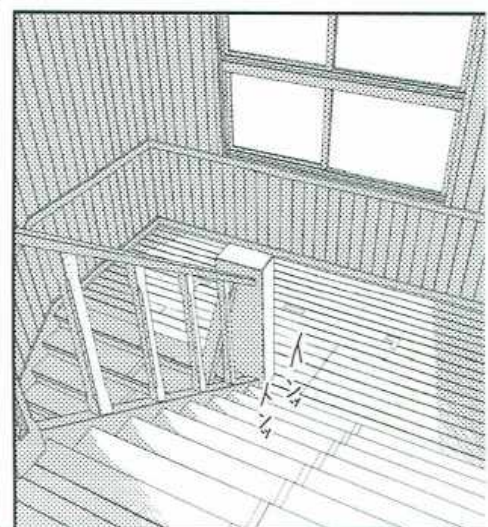
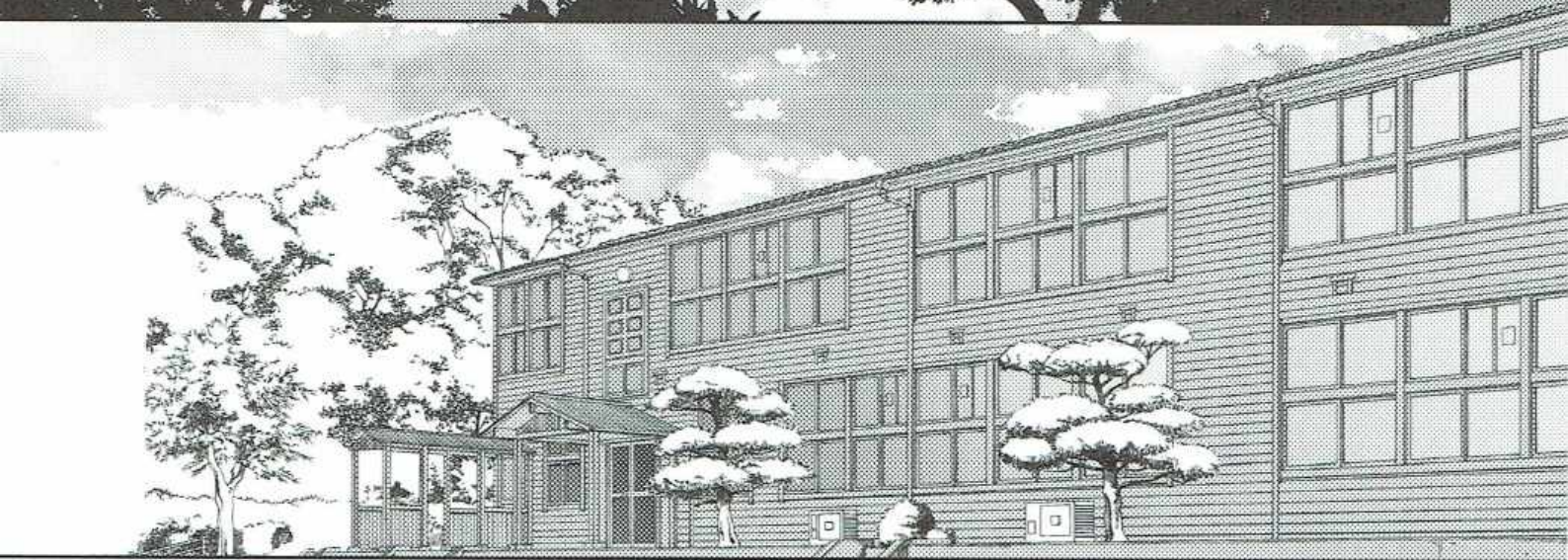
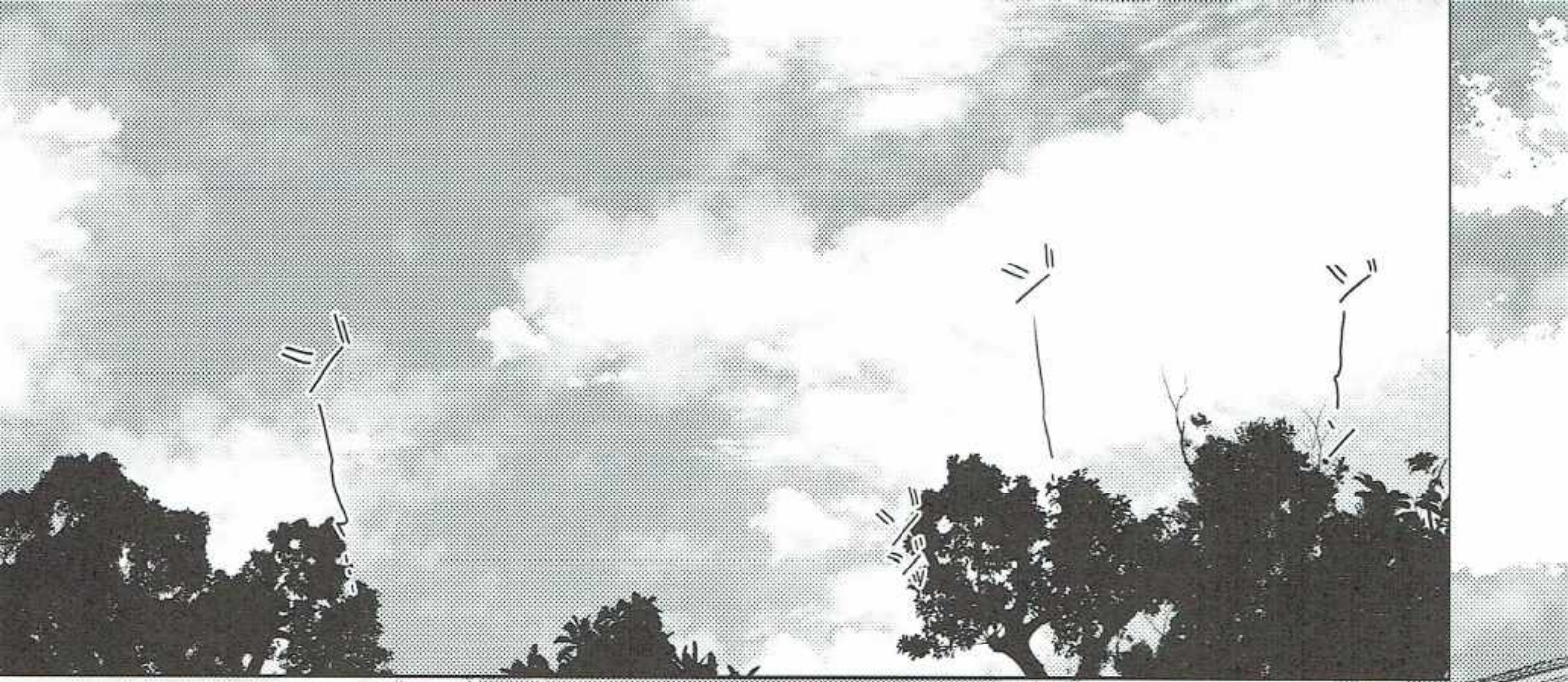
響

響

かな
な
れ

1947.6

日本



いや、まだだよ

ならさつさと
着替えてこい

もうすぐ時間だぞ

つれないなあ

なら少しは
殊勝にしてたらどうだ？

スッ

今日くらい
優しくしてくれても



キス

して欲しいんだ



司令官



…ああ



ありがとう

司令官は優しいね



ねえ

お願いだよ



ん……
そうだな

じゅわっ



おはは

嘘くさいなあ



約束だよ？

キツ

分かったって……
痛い痛い



……タバコの味がする

やめないと体に悪いよ

あ

らあ

はあ



これだけ硬ければ
痛いだろうね

おまえのせいだろ……

ギョ

ギョ

ギョ

ギョ



やっぱり大きいね



楽にしてあげるよ
いいだろ？

……ああ

ずっ……



頼むから
勘弁してくれ……

うっかり噛んでも
怒らないでくれよ

ああ



詰まらせないよう
気をつけろよ



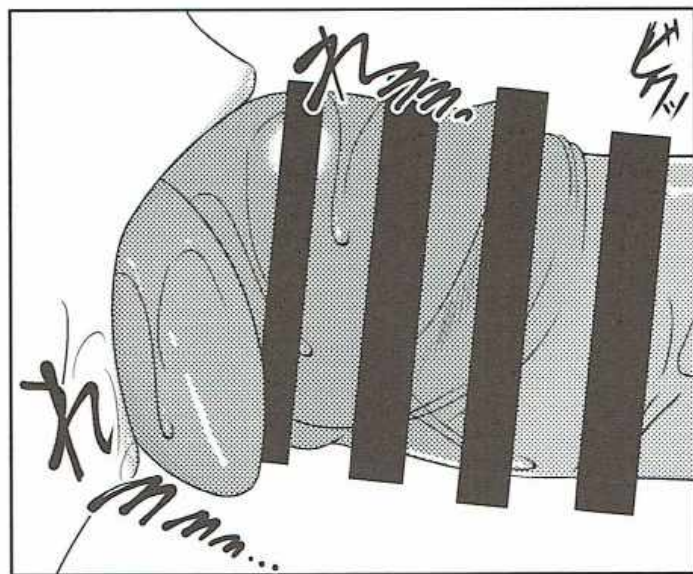
噛み切って
飲み込んでしまえば

司令官と
ずっと一緒だな

冗談さ

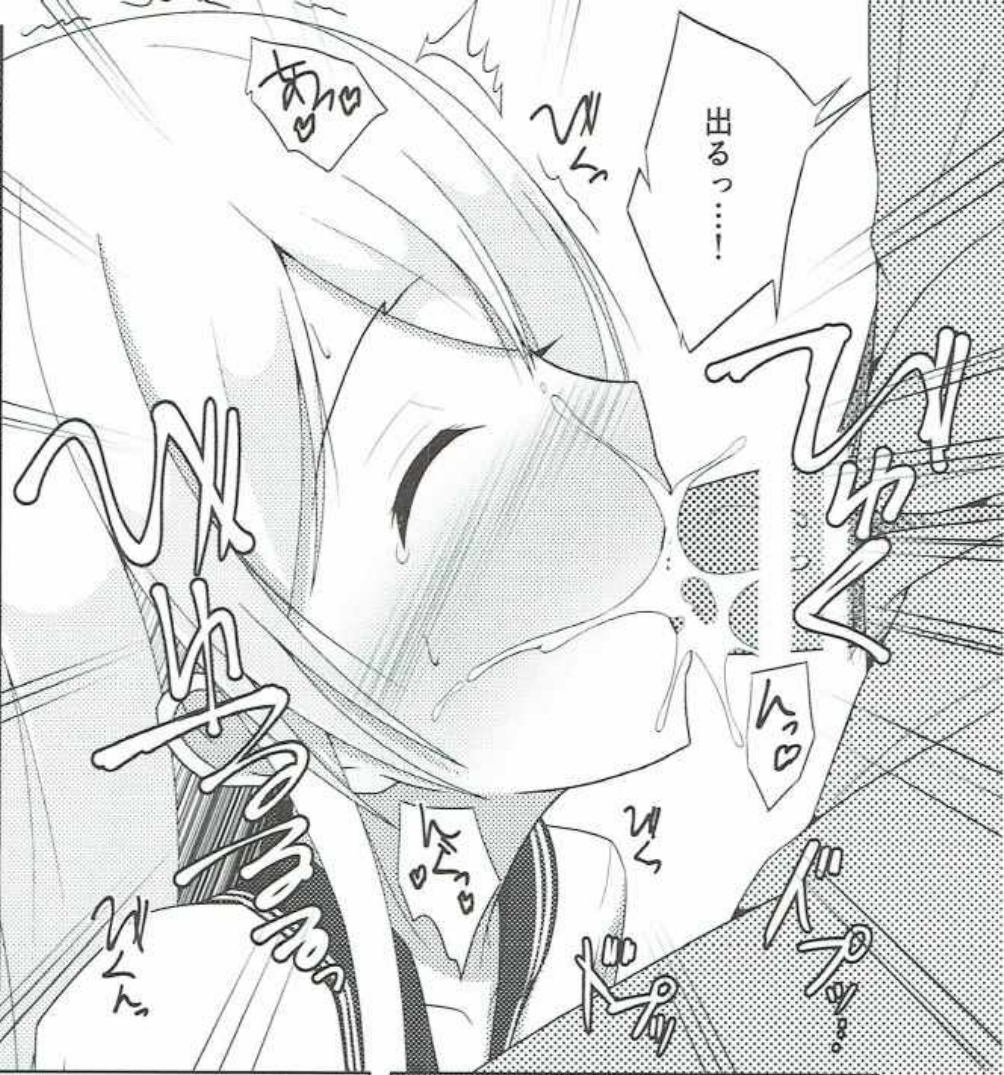
怖いこと言うなよ……

半分は、本当だけど





そんな必死になって
飲まなくてもいいんだぞ



出るっ……



飲みたいんだよ
司令官のだから

忘れないように

私の身体すべてで
憶えていたんだ



んんん

じゃあな……
向こうは寒いから
体に気をつけろよ

寝るときはちゃんと
毛布羽織らないと
風邪ひくぞ

大丈夫だよ、司令官

……ボタン外れてる
とめてあげろよ

これからはずっと
一緒にいられると
思ってたんだけどな……

まさか賠償艦として
ソ連へ渡るとは……

指輪、欲しいって
言えばよかったかな

愛してる

離れたくない

一緒にいたい

響……

いつだって
言えなかった
数々を後悔する

逃げてしまいたい

いつそ二人でどこかへ……

そんな祈りにも似た
言葉を

大丈夫だよ
私はひとりでも

やはり私は
噛み砕けるはずなのに
飲み込んでしまうのだ

……響

きっと
会いに行くから

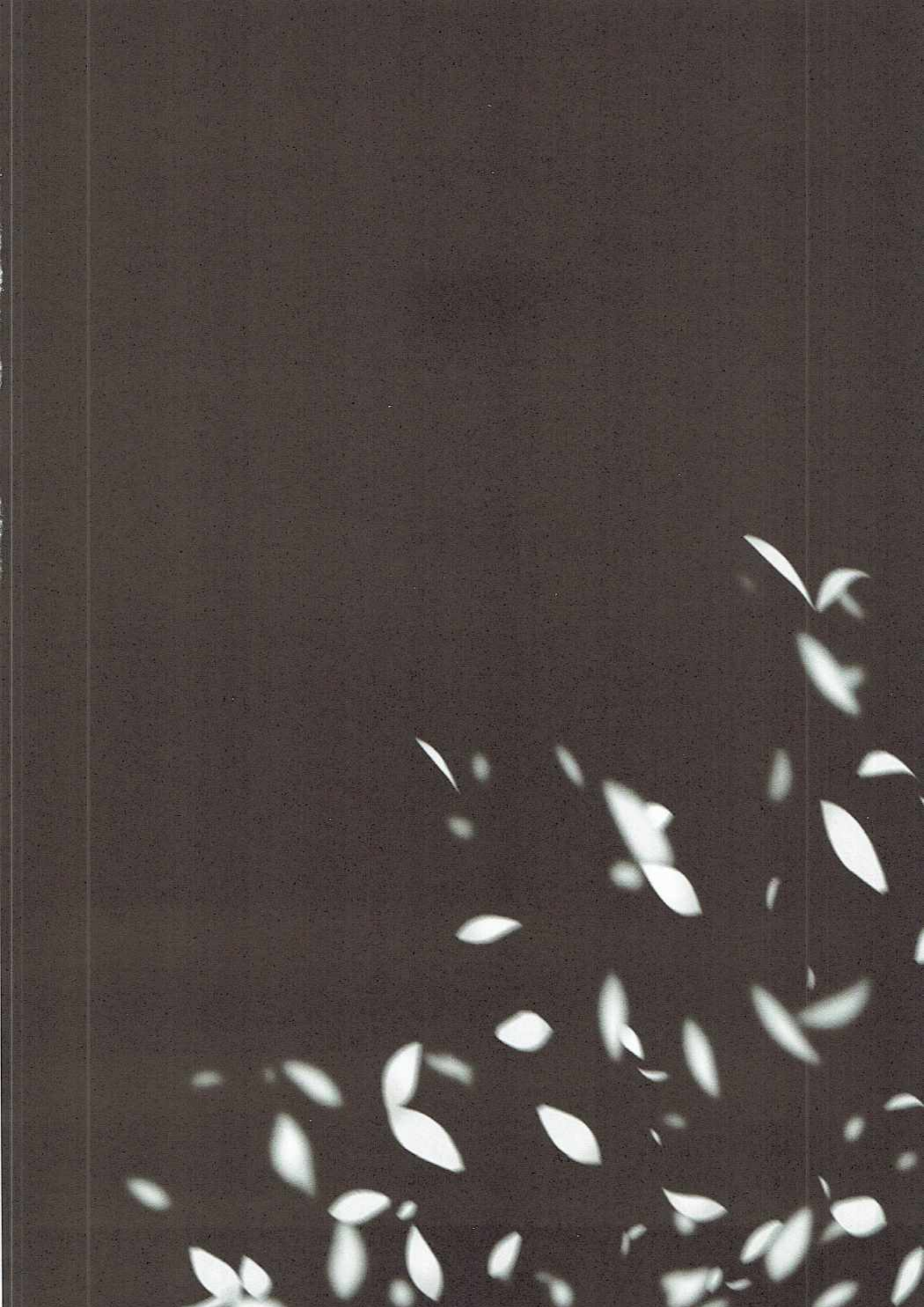
もう逢えないと分かっていた
だから私は、叶わぬ空想を願った

どうすれば

私はずっと君のそばに
いられるのだろうか

さよなら

そばにいられば
死んでしまってもいいのに





狂ったように扉を叩くから
何事かと開けてみればこれだ



ついてない

本当に久しぶりだな
まさか逃げた先で会うなんて



私を見るなり
目の色を変えて
襲いかかってきて

可哀想にこの男
気が違っているんだ

まったく……
そんな乱暴に
突かないでくれよ

やめ……

ずん

もう

おしまいだと
思ってたが

錆びついてても
身体はちゃんと
痛むんだ

あぐ

ずん

はあ

またおまえを
抱けるなんて
夢のようだよ

ズン

うまく
力が入らない

この……
離せ……

はあ

最近では記憶も
長続きしないし
視界だって霞んできた

はー

老朽化が
進んでいるせいだ

んん
んん……

ギン

カレカレカレ

はー

以前の私なら
思うままになんて
させなかったのに



身体は
動かないけれど

銃かなにかでー

っ!

ホッ

響...

響...



響... 響...

泣きながら
私を犯すのか

逢えて
よかった...



想い人か、あるいは妻か
私は彼に
そう映っているようで

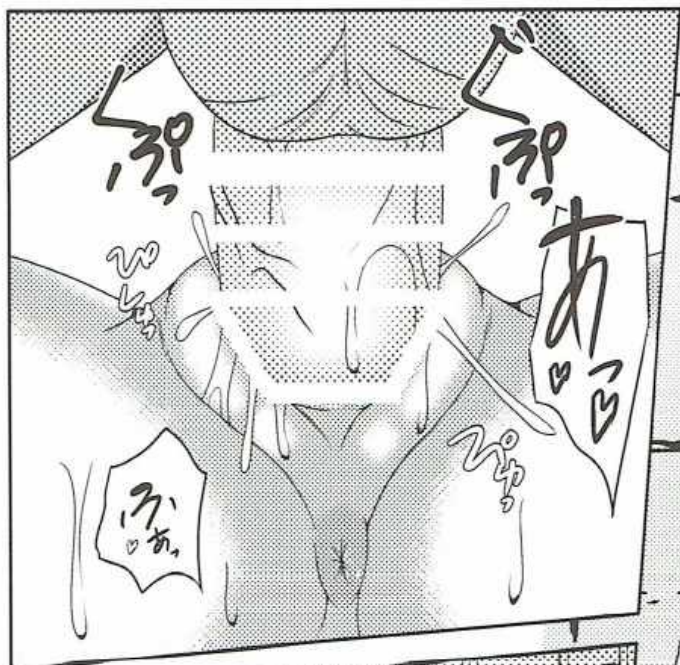
それは勘違いだと
言葉が喉元までせりあがる

ああもう...



ああもう...





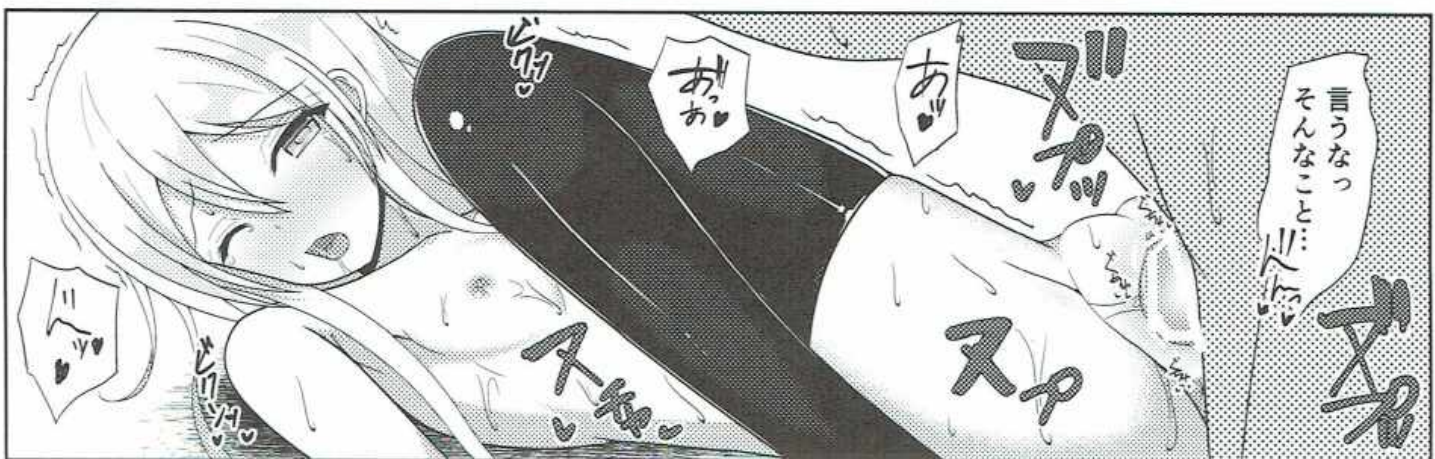
すごっ…
ズボズボきてえ…♡

こんなのっ
おかし…♡

はっ♡

あつたけえなあ
熱くてぐちゅぐちゅだ

突いたらっ…♡





可愛いなあ響は

あははは

おははは

だから♡

そういっの♡
言うなって♡

あは♡

あは♡



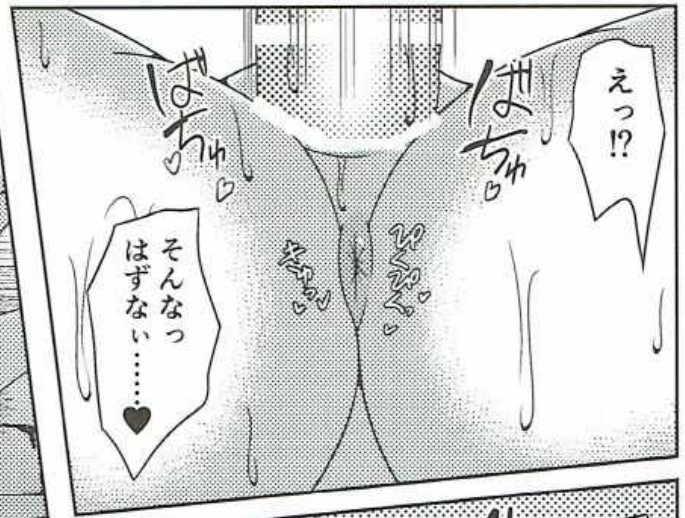
膣内突くたびに
尻の穴ひくひくしてる

あは♡

おは♡

あは♡

あは♡

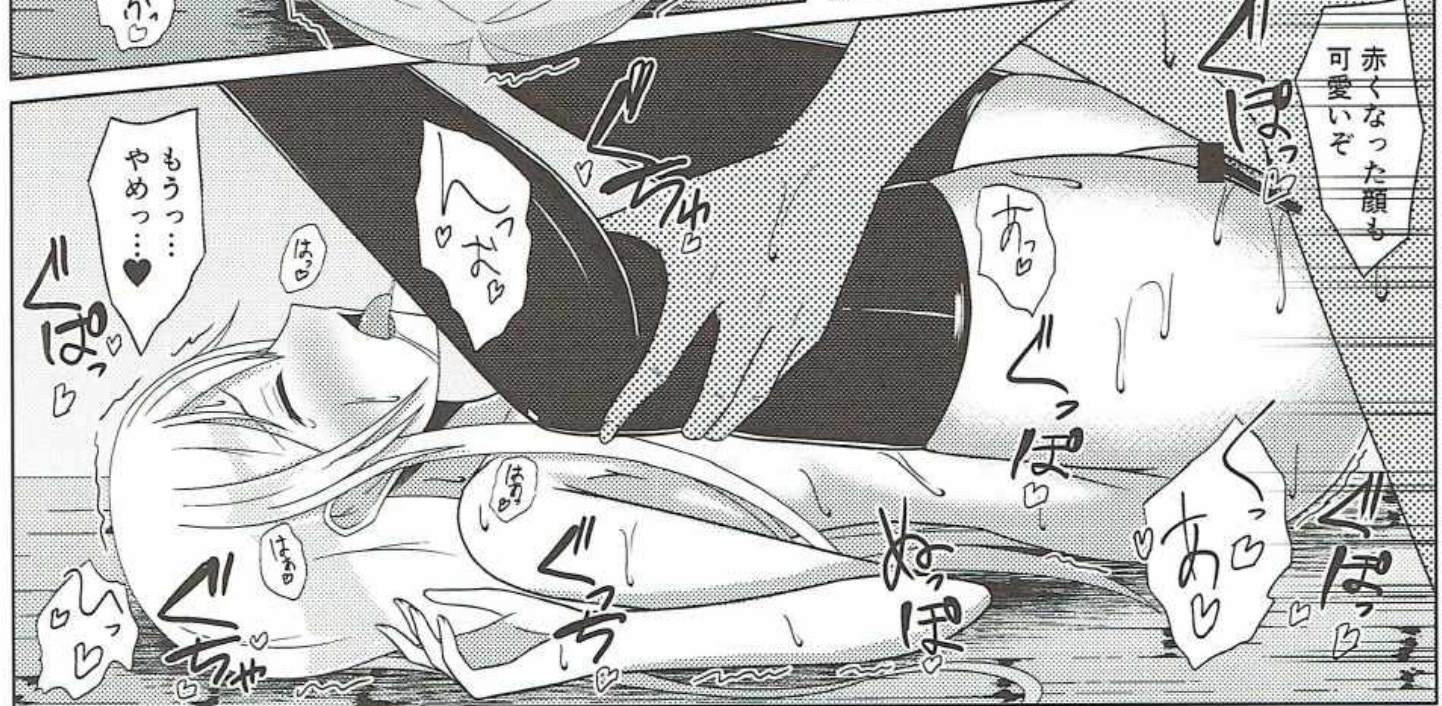


えっ!?

そんなっ
はずない...♡

あは♡

おは♡



赤くなった顔も
可愛いぞ

もうっ...
やめっ...♡

あは♡

あは♡

あは♡

あは♡

あは♡

あは♡



照れるのか?

さっきからびしょびしょだぞ

こんな時間を幾度も味わった気がする

らって気持ちっよくてえ

くだらないことを言い合って



こんなの無理いい♡

いいぞ...響っ!

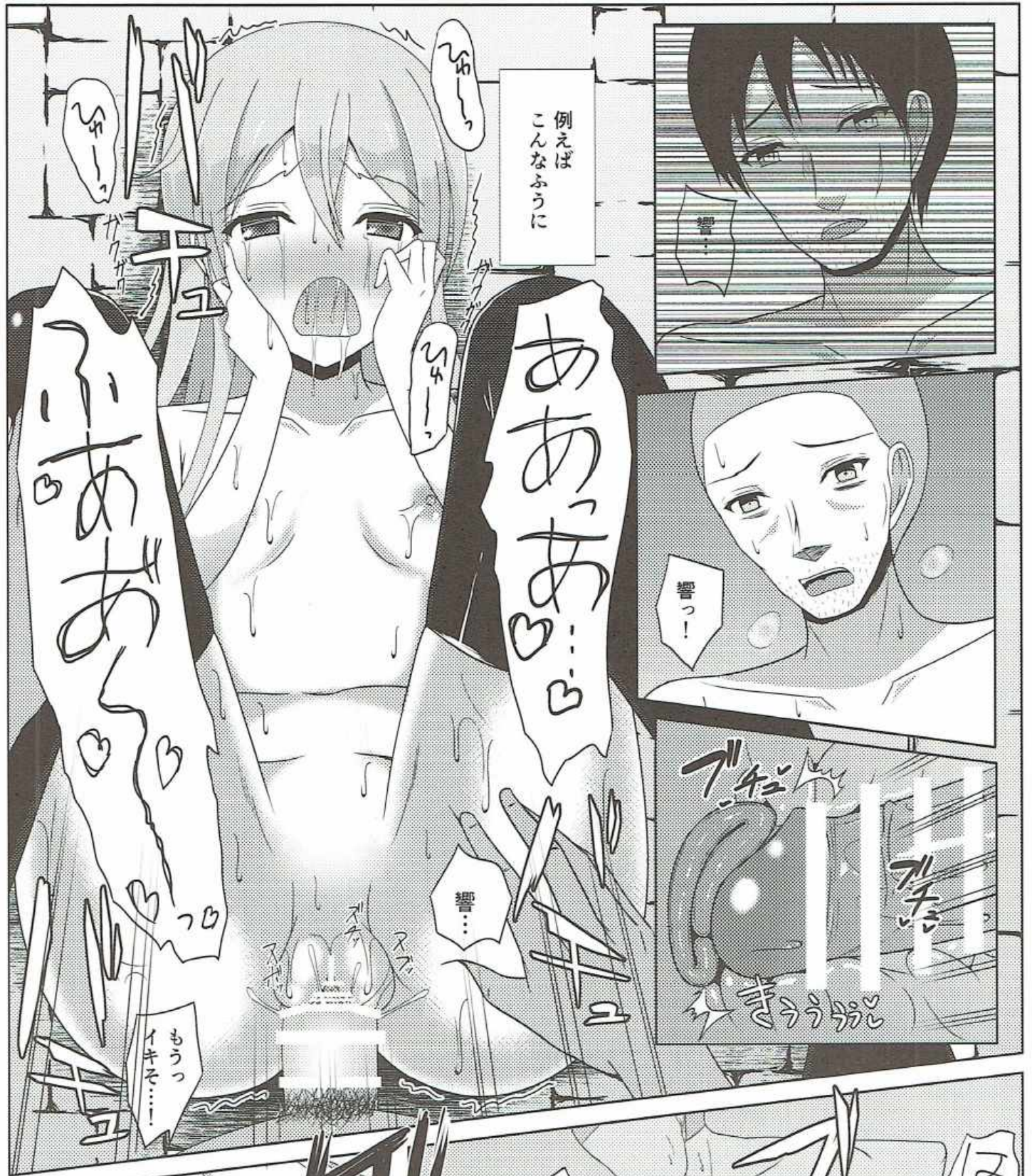
名前を呼び合いながらただ繋がって



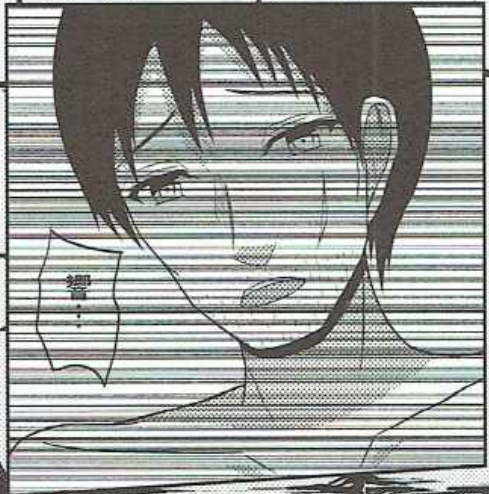
えっちなおしるとまりやないのおお♡



頭の中とろけそうに...



例えば
こんなふうに



司令官っ!

きてっ♡
膣内にだして!



司令官……
誰のことだっけ……？

はー

は
はー

……ねえ
逃げてきたんだろ？
収容所から

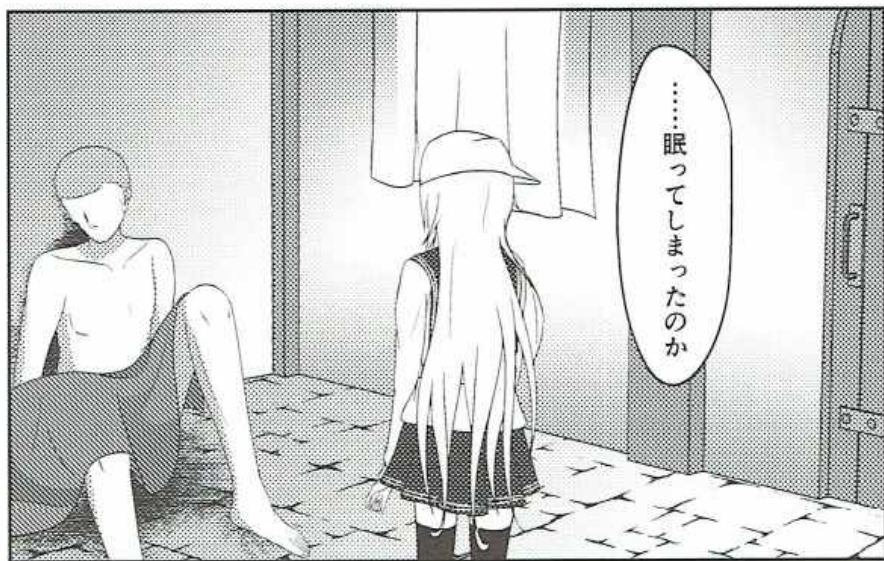


早く出て行った方がいい
ここにはじきに――

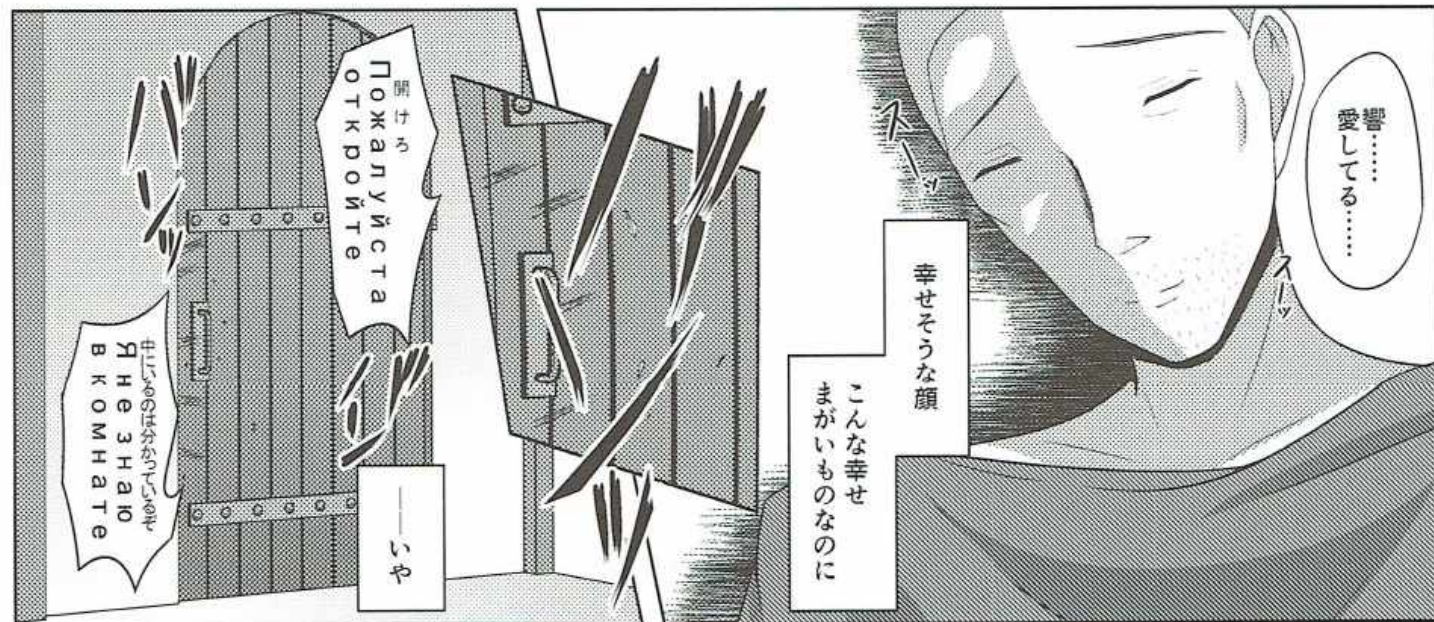
聞いているかい？



ちゃんと
毛布を羽織らないと
風邪ひくぞ



……眠ってしまったのか



響……
愛してる……

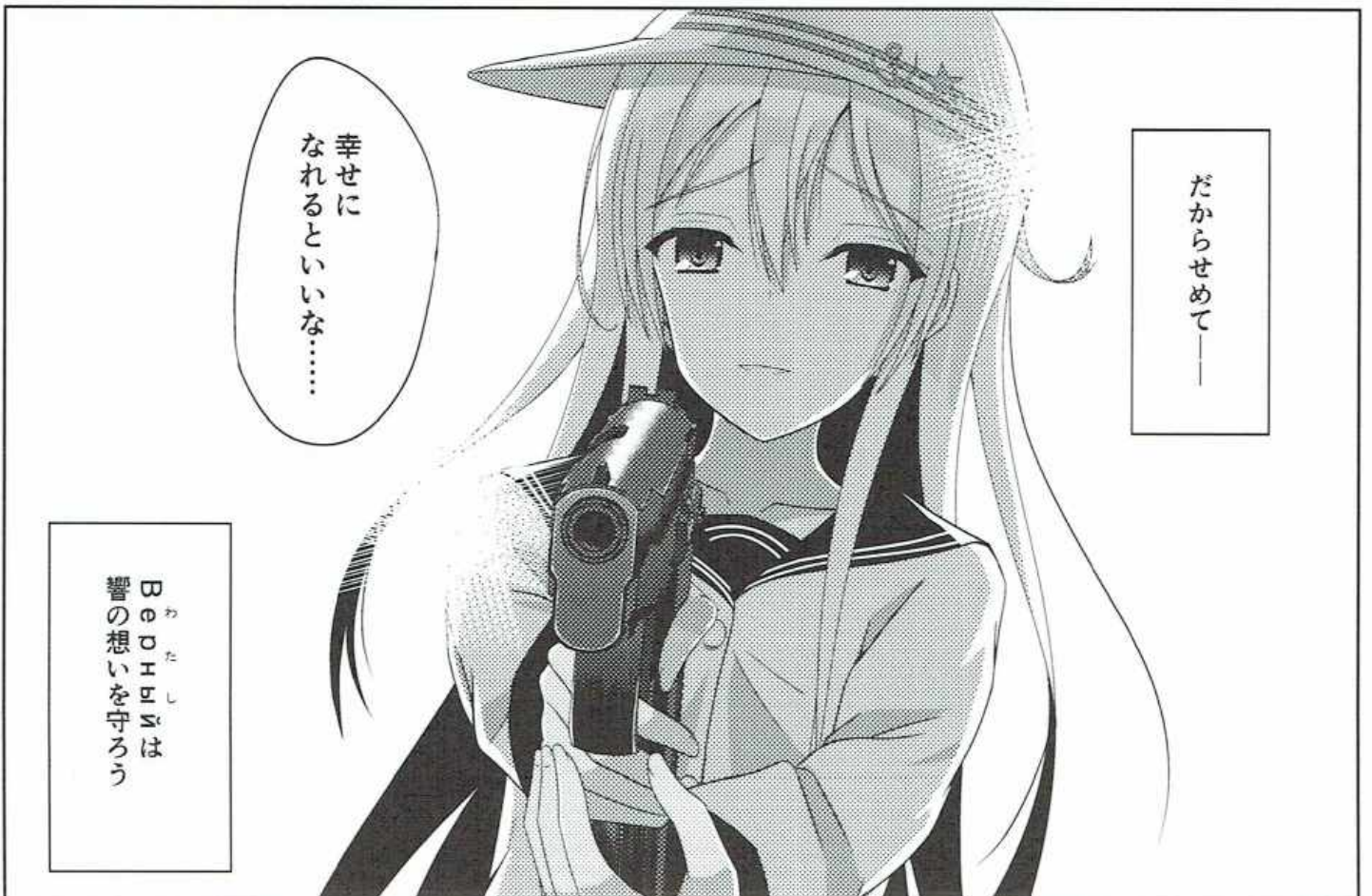
幸せそうな顔

こんな幸せ
まがいものなのに

開けろ
Пожалуйста
откройте

中しめがはがしつて
RHEZHAYO
BKOMHATE

――
ごや



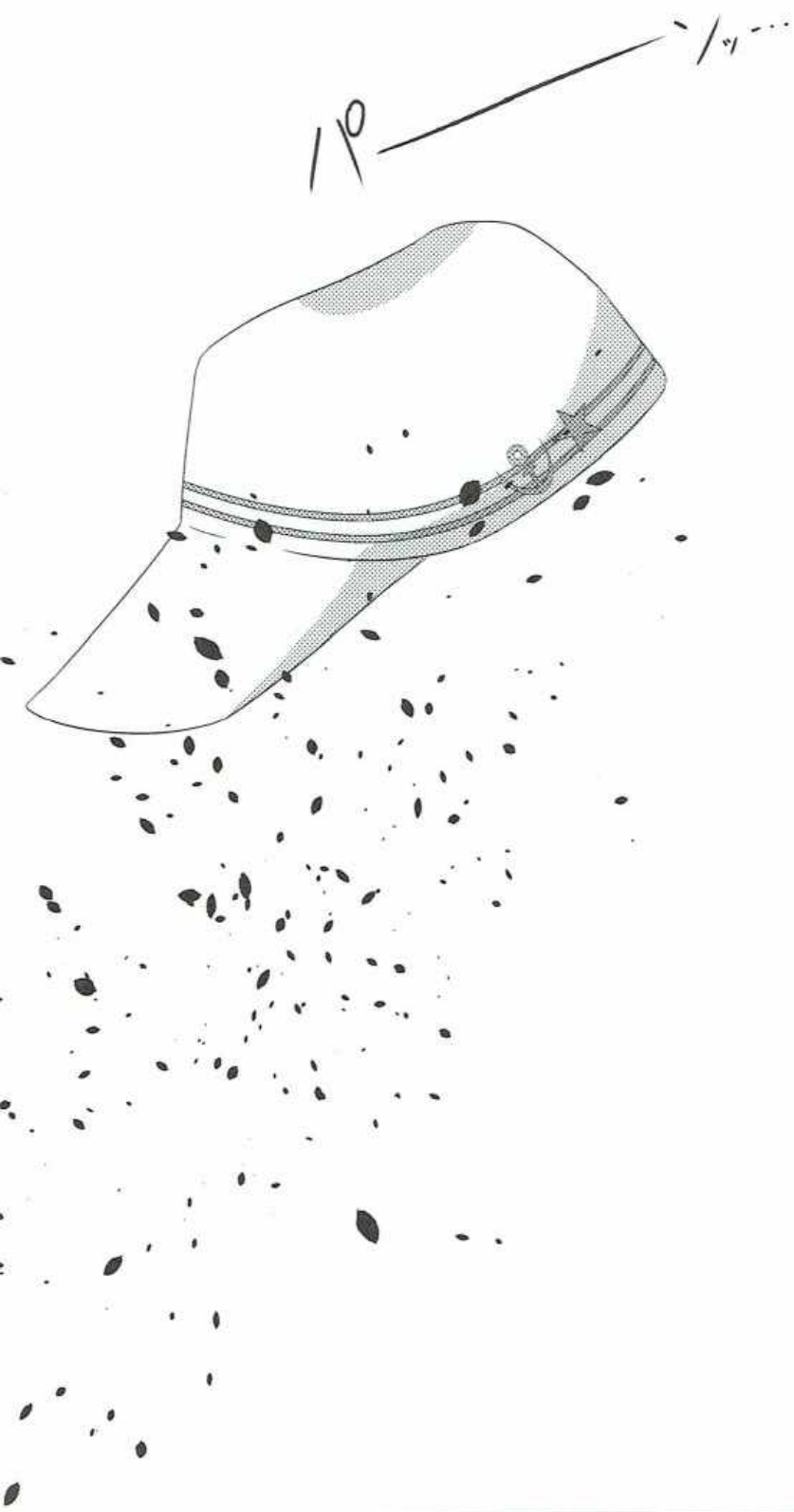
遙か遠くのきみに

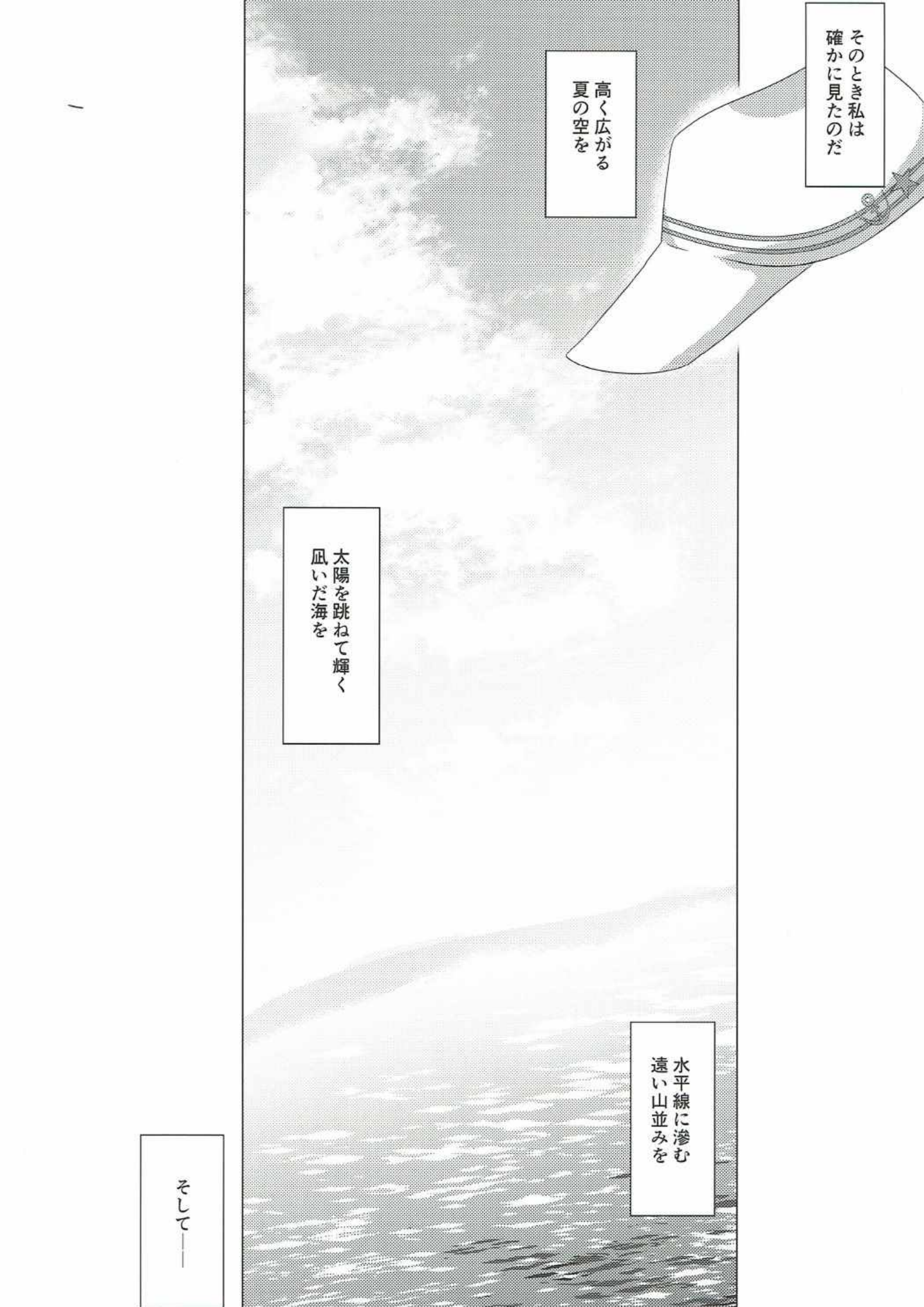


残響は届くだろうか



届くといいな





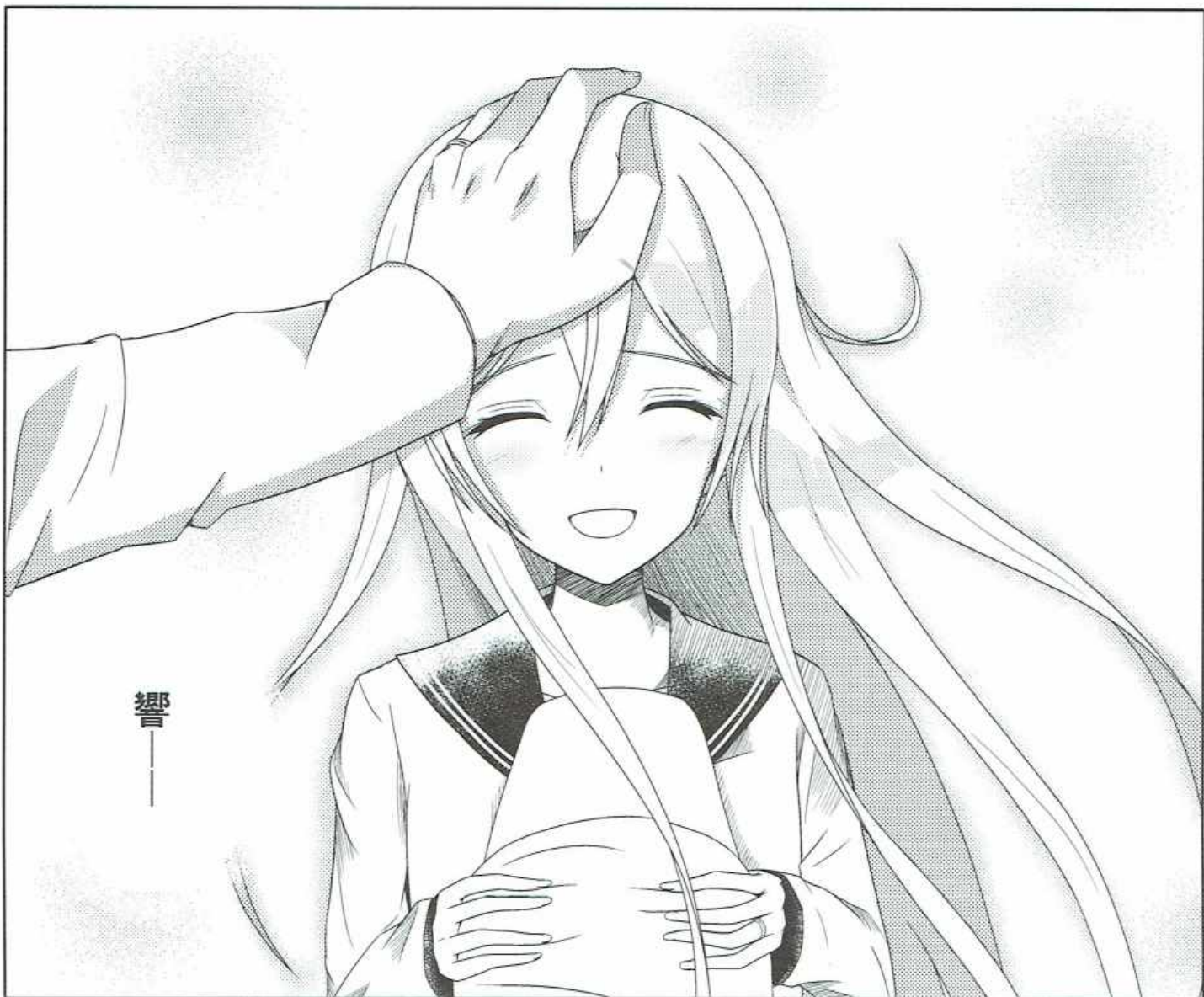
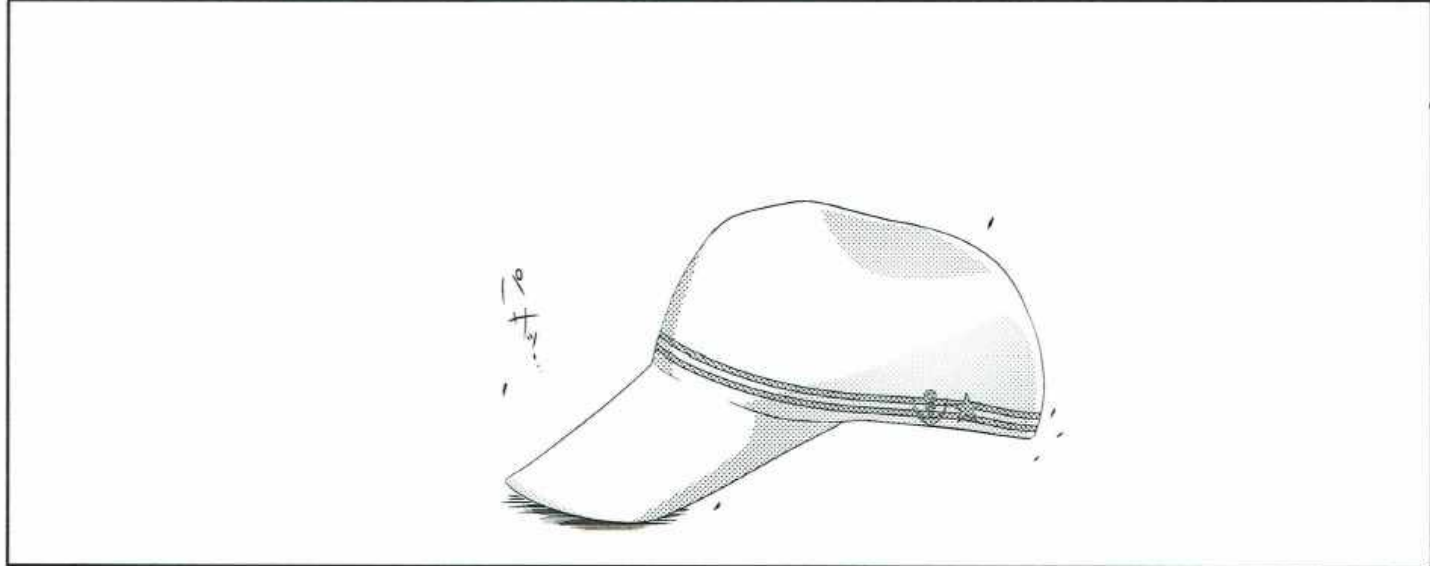
そのとき私は
確かに見たのだ

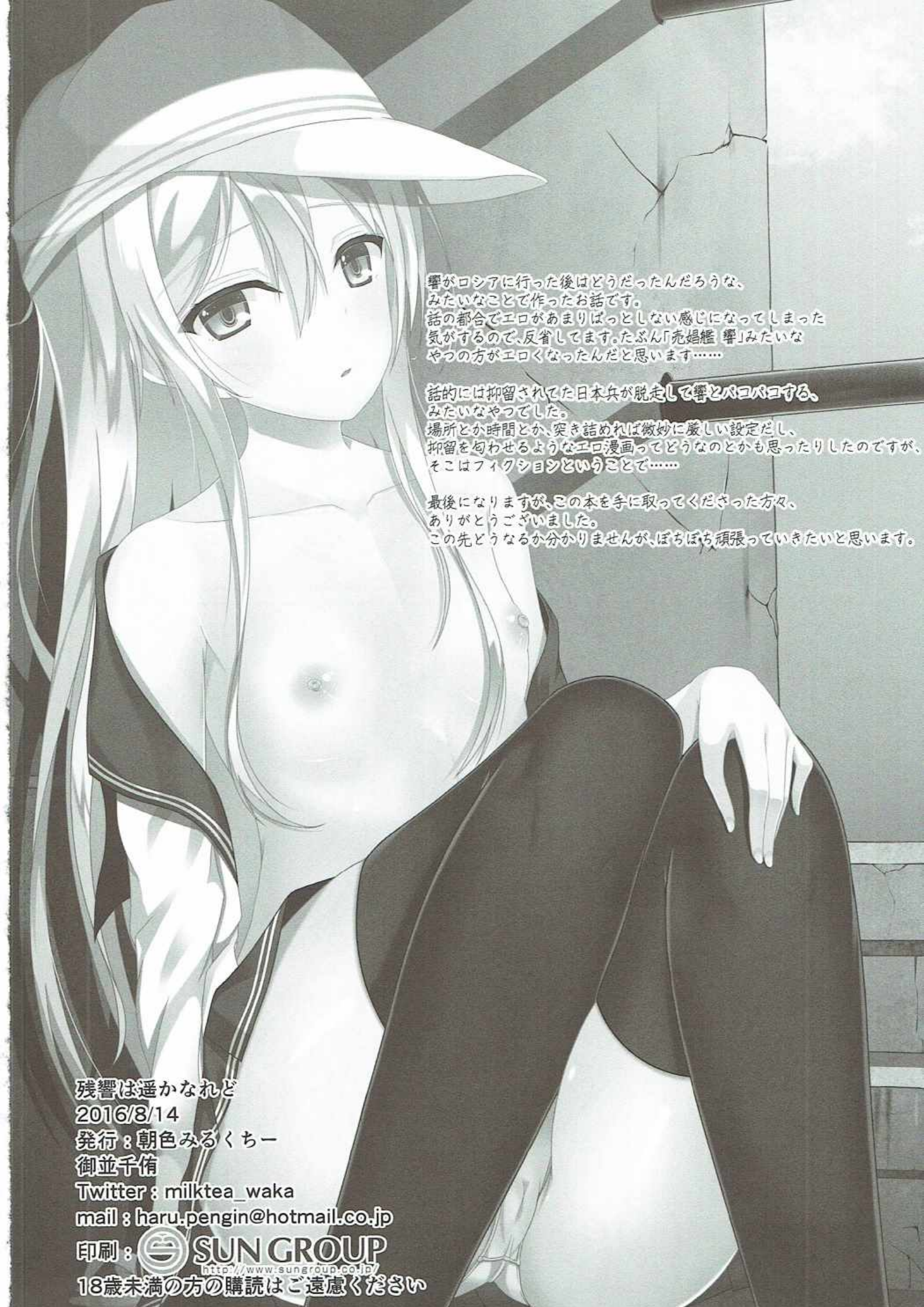
高く広がる
夏の空を

太陽を跳ねて輝く
凧いだ海を

水平線に滲む
遠い山並みを

そして――





響がロシアに行った後はどうだったんだろうな、
みたいなことで作ったお話です。
話の都合でエロがあまりぱっとしない感じになってしまった
気がするので、反省してます。たぶん「売娼艦 響」みたいな
やつの方がエロくなったんだと思います……

話的には抑留されてた日本兵が脱走して響とバロバロする、
みたいなやつでした。
場所とか時間とか、突き詰めれば微妙に厳しい設定だし、
抑留を匂わせるようなエロ漫画ってどうなのとかも思ったりしたのですが、
そこはフィクションということで……

最後になりますが、この本を手にとってくださった方々、
ありがとうございました。
この先どうなるか分かりませんが、ぼちぼち頑張っていきたいと思います。

残響は遙かなれど

2016/8/14

発行：朝色みるくちー

御並千侑

Twitter：milktea_waka

mail：haru.pengin@hotmail.co.jp

印刷：  SUN GROUP
<http://www.sungroup.co.jp/>

18歳未満の方の購読はご遠慮ください



嘘くさいなあ

たいんだよ
言のだから

やめないと体に悪いよ

ふあ

はあ

はあ

頼むから
勘弁してくれ...

じい

ちる